

2018 年度 最終 1 月 難関大本番レベル記述模試地理 B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 字数オーバーは 0 点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは 1 点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は 1 点減点。

（*減点しなくていい要素，その他の注意）

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実に誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

2

問1 各2点

- (1): デジタルデバイド／デジタル・デバイド (「情報格差」は不可) (2): 時間
(3): ハブ空港 (4): モータリゼーション (5): エコツーリズム

問2 5点 指定語句 発展途上国 (下線不要)

携帯電話は電話回線網の整備を必要とせず、固定電話の普及が遅れていた発展途上国でも導入しやすいため。

【加点ポイント】 (指定語句無しは -1点)

- ①移動(携帯)電話は、電話回線網の整備を必要としない
／固定電話は、電話回線網の整備にお金や時間がかかる
／電話線を張り巡らすより携帯電話の基地局を作る方が安くて簡単 →3点
②移動(携帯)電話は発展途上国でも 安価に導入できる／導入しやすい →2点

- 問3 2点 エ
問4 2点 ア
問5 2点 C
問6 2点 D
問7 2点 イ

3

問1 各2点

- A: な B: さ C: し D: せ E: た

問2 各2点

- 1: インフォーマルセクター 2: ファバーラ 3: テルアヴィヴ／テルアビブ
4: シティ 5: ドックランズ (「ドックグランズ」は不可)

問3 5点

既成市街地をその拡大を防ぐためのグリーンベルトで囲み、更にその外側に職住近接のニュータウンを建設して人口の分散を促した。

【加点ポイント】

- ① グリーンベルト／緑地帯 をつくった →1点
② (①の理由として) 市街地の拡大を防ぐ／スプロール現象を食い止める →1点
③ ニュータウンをつくった →1点
④ (③の場所として) ①の外側 →1点
⑤ (③の特徴として) 職住近接である／住宅だけでなくオフィスや工場などもある →1点

